

2015年1月5日号
(12月25日号合併)

2067号 (毎月5,15,25日発行)

1950年12月16日第三種郵便物認可

1部140円 月額400円 (郵送料月額120円)

平和新聞

京都版

E-mail:kyo-hei@crest.ocn.ne.jp 編集 京都平和委員会 Tel. 075-811-3203 FAX075-81103213

発行 日本平和委員会

〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館

Tel. 03-3451-6377 FAX03-34516277

<http://j-peace.org>

沖縄県知事選挙
翁長雄志さん歴史的圧勝!
現職仲井真知事に10万票差

京都平和委員会

2015年
今年もよろしくお願ひします

**沖縄にも、京都にも米軍基地はいらない!
全国の仲間と共に基地撤去の闘いをすすめよう!
安保も基地も、核兵器もない世界を!**

新年のご挨拶

京都平和委員会会長 岡田 英樹

平和委員会会員のみなさま、明けましておめでとうございませう。

昨年は、安倍内閣の暴走に危機感を抱き、その流れを止めようと、多くの国民がさまざまな課題で奮闘した一年であったと思います。平和の問題をめぐっても、昨年一月に国家安全保障会議(日本版NSC)を支える国家安全保障局が発足しました。「戦争する国づくり」の中核組織です。そして七月には集団的自衛権の行使を容認する閣議決定、十月には日米防衛協力のための指針(ガイドライン)の中間報告、一昨年に強行採決された特定秘密保護法も十二月に施行されました。憲法違反の施策が打ち出され、「戦争できる国づくり」が進められてきました。こうした右傾化に歯止めをかける大きなチャンスであった年末の総選挙においても、自民・公明与党は三分の二の議席を確保する結果となりました。

この一文は、選挙結果を報道する新聞を前にしながら書いています。野党不振の中で、共産党が大幅に議席を伸ばしました。これは、安倍政権の暴走を食い止めたいと願う人々の意志の表れと見るべきでしょう。また沖縄の四つの小選挙区で、新基地建設に反対する「オール沖縄」の候補が、自民党を打ち破って当選を決めたことも特筆すべきだと思います。沖縄では、昨年一月に稲嶺名護市長当選、七月名護市議会議員選挙勝利、十一月翁長知事誕生と、自民党の基地押しつけに連続してノーの審判を下してきました。安倍首相が信条とする「戦後レジューム」の解体、「戦争国家への回帰」に対抗する潮流は確実に広がっています。

今年は戦後七十年、再び「戦前」としないための平和委員会の強い決意が求められています。経が岬米軍リーダー基地も、住民の意思を無視して工事が進められています。沖縄に学んだ粘り強い闘い——地元「連絡会」、「宇川有志の会」と連携した取り組みが期待されています。一月からの通常国会では集団的自衛権行使に関する法案が提出され、ガイドラインの最終報告も出されます。四月の統一地方選挙、九州電力川内原発の再稼働、NPT再検討会議、環太平洋経済連携協定(TPP)など、国民の安心と安全にかかわる重要な課題が待っています。気の抜けない一年となるでしょう。

昨年、京都平和委員会が待望してきた「青年部」が誕生して、清らかな活動を展開しています。こうした新しい力に励まされながら、大きな平和のうねりを創っていきましょう。

最後に、平和委員会が重要な役割を担ってきた戸田理事長が昨年病気で倒れ、今必死にリハビリに励んでおられます。一日も早い回復と、運動への復帰をお祈りします。